

**事業所名** グループホーム東倉敷  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成21年 3月 4日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 通所介護事業所管理者  
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士、生活相談員  
B:現職 訪問看護師  
資格・経験 看護師37年、介護支援専門員

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・3階建ての建物の2階、3階部分に各ユニットがあり、1階にはデイサービスが併設されている。併設の施設とも協力しながら入居者の暮らしを支え、入居者の社会参加を支援しており、映画や芝居見物等、入居者の望む場所へ出かけて生活の幅を広げ、生活に張りや潤いをもたらすように取り組んでいる。
- ・週1回の住診や医療機関との連携体制を整え、日常的に入居者の健康な生活を支えている。
- ・入居者の「生活継続性」「自己決定」を尊重する支援を理念に掲げ、入居者のこれまでの暮らしや嗜好等、心身両面に亘るアセスメントを綿密に行い、その人らしい暮らしの継続をめざして支援している。入居者にとっての普通の生活は何かを心に留め、家族とも協力しながら入居者の暮らしを支えている。
- ・より良いケアサービスを提供するため、勉強会や研修を積極的にを行い、法人全体で介護水準を高め、入居者の特徴を活かしたケアを提供し、入居者が生き生きとした表情で暮らせるように努めている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・特に改善の余地があると思われる点はない。
- ・今後も、入居者の要望に真摯に耳を傾け、入居者と共に歩んでいけることを期待する。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b> ・入居者一人ひとりの「生活の継続性」と「自己決定」を尊重した支援をめざしており、入居に至るまでの暮らしや家族のこと、不安なことや求めていること、意向等をよく知り、入居前と変わらぬ暮らしを継続し、その人らしく暮らせるように支援している。また、障害を持っていても、できることが少しずつ増えていくように働きかけている。 ・入居者一人ひとりの生活のリズムを大切にしながら、一緒に過ごしていく中で不安や喜び等入居者の思いを理解し、落ち着いて穏やかに過ごしてもらえるように努めている。 ・現状に満足することなく、系列のホームとも連携して勉強会や研修会を行い、ケアサービスの向上に向けて取り組んでいる。		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b> ・本人がよりよく暮らすための課題とケアのあり方について考えるため、綿密にアセスメントを行い、介護計画を作成している。食事・入浴・排せつといった基本的な事項以外にも、家事や買い物、趣味や信仰、医療や夜間の援助等多岐に亘るプランを立てて実行している。 ・居心地の良い居場所作りのため、ソファや絨毯、机などの配置や色などを工夫している。また、廊下の突き当りには閲覧コーナーを設け、本を読んだり、他の方の気配を感じながら、自分の居室以外の空間でも一人ゆっくりとくつろげるように配慮している。 ・ユニットごとに新聞を作ってあり、その中に「みんなの声」という欄を設け、日常生活の中での入居者の色々な声を取り上げている。入居者の要望には、できることからすぐに実行に移し、「リビングに花を飾ったら」という声を受けて鉢植えの花を買いに行くなど、入居者の声を反映できるように取り組んでいる。		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b> ・生活空間と事務などの空間は、カウンタで区切られている。介護記録等の書類や薬等は、入居者や訪問者の目に触れないよう、奥にある棚に保管して管理し、個人情報漏洩しないよう留意している。 ・生活歴のアセスメントが多岐に亘っており、ライフステージごとの入居者の暮らしや障害を持つてからの気持ち等、精神面の把握にも重点を置き、個人の尊厳を守り、その人らしさを尊重する支援を心がけている。 ・少しでも、「できること」「したいこと」を援助していこうという姿勢が職員にあり、日常生活の中での掃除や洗濯、洗い物等の家事や買い物、墓参りや映画鑑賞、芝居見物等、入居者の望むくらしが実現できるように取り組んでいる。		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b> ・法人の理念をもとに作成された「やっていますか?100」を用い、その中の項目の中から毎年のテーマを決めて取り組んでいる。今年は人材育成というテーマを決め、新人職員の知識・技術のレベルアップに焦点を当てて取り組んでいる。また、週ごとの目標も決めており、取り組みに対して評価しながらより質の高いケアサービスの提供に努めている。 ・ヒヤリハットや事故報告書では、「その時何をしようとしていたか」等、事故の状況を分析して検討し、再発防止に努めている。 ・入居者を支援していくうえで、入居者と家族とのより良い関係作りを大切にしており、家族と情報交換等行いながら、本人とのつながりを深めていけるように取り組んでいる。		